

# 日本はかつて子供の天国でした

公益財団法人  
新教育者連盟理事長 代田健蔵

近年、少子化問題をはじめ、いじめ、ひきこもり、少年犯罪など、子供に関する悲しい話題が数多くあるのは誠に残念至極であります。15歳から34歳までの死因の第1位が自殺で、先進諸国(G7)では日本だけであるとの統計もあり胸が痛みます。

その理由は多様ですが、究極は「今だけ良ければよい」「自分だけ良ければよい」「お金だけ得をすればよい」の「三だけ精神」の発露ではないでしょうか。

大森貝塚(東京都品川区)を発見したことで有名なエドワード・モース(アメリカ人)は、「私は日本が子供の天国であることを繰返さざるを得ない。世界中で日本ほど、子供が親切に取り扱われ、そして子供の為に深い注意が払われる国はない。子供がいつもニコニコしている所から判断すると、子供達は朝から晩まで幸福であるらしい」。さらにモースは「世界中で、両親を敬愛し、老年者を尊敬すること日本の子供に勝るものはない」「日本人は確かに児童問題を解決している。日本の子供ほど行儀がよく親切な子供はいない。また、日本人の母親ほど辛抱強く愛情に富み、子供につくす母親はいない」と言っている。(渡辺京二著「逝きし世の面影」平凡社)

モースの言葉にありますように、かつてわが国は「子供の天国」と讃えられてきました。

時代の変化と言えばそれまでですが、来日した多くの外国人が驚嘆していますように、礼儀の正しさ、行き届いた言葉遣い、表情の明るさ、時間の正確さ、仕事の真面目さ、公德心の豊かさ、正直な心、思いやりの心など、日本人が大切にしてきた素晴らしいものを、今一度見直し「日本流が広がることで世界はもっと良くなる」との気概をもちたいものです。



「生命の教育哲学」創始者 谷口雅春先生御揮毫

自分に誇りをもち 親に誇りをもち 祖国日本に誇りをもつ 青少年を育成する

責任編集  
公益財団法人 新教育者連盟

# 生命の教育

令和5年7月号 もくじ

巻頭のこぼれ 新教育者連盟理事長 代田健蔵

日本はかつて子供の天国でした

## 特集 子育ての不安Q & A

- 5 子供の内なる神の力を信じましょう
- 8 大丈夫! マサツがあるからこそ前進できるので
- 10 登園をしぶる年長組の娘に困っている
- 11 夫の心をもっと家族に向けさせたい
- 12 不良交友がすすむ息子の将来が母親として心配!
- 13 子供の褒め方のコツを教えてください
- 14 やる気のスイッチが入らない息子
- 15 友達が作れない小学1年の娘
- 16 乱雑な字を書くわが子が心配
- 17 きょうだい仲が悪いふたりに困っている
- 18 体の欠点を言われて悩んでいる娘
- 19 母子家庭で育つ子供の将来が心配
- 20 中1の娘の塾選びで悩んでいる母親
- 21 高校受験への意識が低すぎる中2の息子

- 谷口雅春
- 伊藤八郎
- 長嶺多津枝
- 田本美佐子
- 鈴木真人
- 杉山紀代子
- 菊池正規
- 執行ひろみ
- 鎌倉弘行
- 片山智由利
- 小林義典
- 大原和子
- 齋藤千鶴子
- 永井敏勝

23 〈シリーズ〉生命の教育とは(4)

(公財)新教育者連盟理事長 代田建蔵

- 22 子育てワンポイント(73) 信じる 出口正博
- 25 子育ては母育で(128) 治療は病気との戦い 田下昌明
- 26 世界がおどろく日本の魅力(29) 大和言葉が伝える美しい星の世界 井上雅夫
- 27 日本国憲法の問題点(93) アメリカ人から見た日本国憲法(1) 勝岡寛次
- 日本のしきたり(67) 「手紙」 辻川牧子
- 28 親子で読むものがたり(130) 国旗「日の丸」を大切にしましょう 南 敏雄
- 30 広がる仲間の輪—喜びの声— 大阪子ども寺子屋楽しく開催される!
- 31 新教連活動あらかると  
◇ 新紙芝居『古事記神話』シリーズに寄せられた声、優秀作文の紹介、  
会員入会等の案内 ほか  
◇ 7月の支部行事
- 34 暑中お見舞い・名刺広告
- 38 事務局短信・編集後記・次号案内

## 生命の教育 七つの心得

- 一、子供に宿る善性を信じ、これを引き出し伸ばし、育てます。
- 二、どの子の個性も尊重し、この世に生まれた使命を生かします。
- 三、よい習慣をしつづけて、正しいしつけといたします。
- 四、問題の子供は心の病氣、実は優柔児の仮の姿で、観方を一転します。
- 五、親が変われば子が変わる。何よりもまず、明るい家庭をつくります。
- 六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、認めてほめて、たたえます。
- 七、花咲くことを疑わず、信じて気ながに育てます。

